



## Testimonials

テレビで初めて遺骨をダイヤにかえることができるのを知って、母が生きていた時に、この話をし、「もしお母さんが死んだ時は、ダイヤにしてあげるからね」と言って、半年後くらいに病気で亡くなってしまいました。

こんなに早くこの機会がくるとは思わなかったのですが、どこに頼んでいいかわからなかったが、たまたま葬儀会社の方がこちらの会社を紹介してくれたので、実際に母のダイヤを作ることができました。そして、故人が持っていた指輪にダイヤを加工できるというので、母の結婚指輪にダイヤを付けてもらいましたが、とても立派な物として帰ってきたので、すごく感謝しています。普通なら、お墓に遺骨を入れたりするので、いつもそばにいることはできませんが、この様にダイヤにしたら、いつも一緒にいられるので、とても嬉しいです。

これからは、一緒に行けなかった海外旅行や自分の結婚式etc、様々なイベントの時是一緒に行動していきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



2006年11月  
K.M 様(北海道)



2007年1月  
K.S 様(静岡県:オランダ在住)

アルゴダンザ・メモリアル・ダイヤモンド(左上)に誕生石のアクアマリン、天然イエロー・ダイヤを使用したリング。側面にはお母様が使用されていた眼鏡に付いていたダイヤをあしらった。

2005年の11月、海外転勤で日本を離れた約2カ月後、唯一の肉親である母との突然の別れ。色々な事務手続きの為、というだけでなく、精神的にも立ち直れず、その後1ヶ月近く日本で過ごしていた頃、メモリアル・ダイヤモンドの存在をテレビで知りました。一緒にテレビを見ていた叔母と、これだ!と飛びつきました。テレビで見たのは他社さんの紹介でしたが、インターネットで調べるうちにアルゴダンザ社に出会いました。私の海外居住地でダイヤモンドを受け取りたい、というわがままな要望にもすぐにOKのお返事を頂き、また同郷の静岡県の会社ということもあり非常に親近感を覚え、お世話になることにしました。出来上がったダイヤを、海外支社の方がわざわざ私の勤務先まで届けに来てくださいました。

母の死後半年以上が経ち、気持ちも落ち着いていたつもりでしたが、メモリアル・ダイヤモンドを手にとると、うれしさと寂しさが一緒にこみ上げてきて、何とも表現しがたい気持ちに包まれました。海外支社の方からジュエリー加工先の紹介も受け、足早にそのデザイナーを訪ね、リング加工へと進みました。メモリアル・ダイヤモンドに非常に理解がある方で、母の遺品であるダイヤモンド等を組み合わせ、非常にスタイリッシュなリングを仕上げてくださいました。そして2006年末の一周忌、このリングと共に迎えることができたのはアルゴダンザ社の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。



2006年11月  
土方八重子様(神奈川県)

今年3月に主人が亡くなりました。

5年前に大腸ガンの手術をした際に主治医から余命5年位と云われ、今年が丁度5年目に入った所でした。この5年間は、年の瀬になり年賀状を用意する頃になると、この先何年、主人との連名で年賀状を出せるのかと不安がよぎりながらも年月が経ち、とうとう今年は喪中葉書を出す年になってしまいました。

私達の前では、辛い顔を見せる事なく常に前向きで、生涯現役と言って亡くなる2週間前まで連日会社に行っていました。ついに体力の限界となり、先に旅立ってしまいました。

私達家族は、今頃は主人もきっと楽になり、新たな人生のスタートの準備をしているのだろうと思っています。残った家族全員が主人の為にも以前の様に明るく楽しい生活を続けてゆく事で、安心して次の人生の第一歩を踏み出せる事になるのではと確信しています。

抜けがらとなった主人の体は、今生での衣を脱いでいっただけのもので、魂は永遠不滅と思っていますので、必ず、再び、身近な形で再会出来るのを、いつの日か皆楽しみにしています。私達に貴重な体験と、大きな意味のある物事を置き土産に一足先に旅立った主人に手を合わせて感謝する日々です。主人の姿・形は見えませんが、唯一主人を身近に感じる事の出来る物として今回素晴らしいダイヤモンドという形で身につける事が出来、本当にありがとうございます。又、スタッフの方達の親切で丁寧な対応、本当にありがとうございます。安心してお任せ出来ました。

母の生前にテレビで親た記憶を頼りにネットで調べて連絡をとってから10ヵ月。骨量が足りないのではないかと心配も杞憂におわり、素敵なデザインのペンダントヘッドに生まれ変わって手元に戻ってきました。母と私の好きなスカイブルーのダイヤは、想像していなかっただけに嬉しさもひとしおです。

一人娘の私は母に本当に大切にされてきました。「目の中に入れても痛くない」というのはこういう事だろうと、いつも思っていました。

これからは、いつも私が行く所に一緒に行き、私が楽しむ事を一緒に楽しむ事が出来るなど、今から楽しみです。

こちらが心配しない様に経過報告等まめにし頂き、感謝しています。ありがとうございました。



2007年1月  
R.K 様(東京都)



2007年1月  
Y.F様(東京都)

このたびはとても素敵なダイヤモンドを作ってください、本当にありがとうございました。

早いもので父が亡くなりもう半年経ちました。最初の頃は思い出しては泣いてばかりでしたが、この頃は少し悲しみも薄れてきました。と同時に少しずつ姿形や声など自分の記憶から薄れていくのではないかと不安な気持ちもありました。いつまでも悲しみばかりにひたつていられないことは分かっているのに、気がつくと父のことを忘れていた自分を責めたりもしました。

出来上がったダイヤを初めて見た時に、悲しいことや辛いことではなく、楽しかった思い出や、父から受けた愛情などが美しい形に結晶した石だと思いました。

リングとなったことで、いつでも私の目に触れるところに父が存在し、私のことを見守ってくれているような気がします。父は容れ物としての体はなくなりましたが、予想もしない形で、今私の手元にあるんだということを伝えて安心させてあげたいです。